

モノづくり

産学官情報交換会

栃木産業人クラブ

栃木産業人クラブ(高橋和夫会長＝大高商事社長)は、栃木県産業労働観光部の幹部らと「次代へ向け飛躍する栃木のモノづくり」をテーマに情報交換会を開いた。県幹部をはじめ、栃木県産業技術センター、栃木県産業振興センター、宇都宮大学、帝京大学、足利銀行、栃木銀行の関係者から企業支援や連携についての取り組みが紹介された。新たな事業展開で注目される企業からの事例報告を交え、今後、栃木県産業界が一段の飛躍を図るための方向性を探った。



栃木県 産業労働観光部
産業政策課産業プロジェクト推進室長
鈴木 峰雄氏



栃木県 産業労働観光部長
小林 一巳氏



栃木産業人クラブ会長
(大高商事社長)
高橋 和夫氏

産業振興の方向性

高橋 モノづくりを中心とした産業界のこの一年間を振り返ると、「大変厳しい」の一語に尽きる。小川 欧州債務危機を契機として世界景気の減速や、電気料金の値上げ、日中関係の冷え込み

さらには前進していく姿勢が強く求められます。今日の現場で紹介される情報は、8月には県内産業をリードしてきたシャープ栃木工場の事業縮小が発表され、地域への影響が懸念されています。こうした中、栃木県が活力ある地域として発展を続けるため、スタートを2年目とする「新と

などの影響から、県内企業は厳しい状況が続いています。8月には県内産業をリードしてきたシャープ栃木工場の事業縮小が発表され、地域への影響が懸念されています。こうした中、栃木県が活力ある地域として発展を続けるため、スタートを2年目とする「新と

5分野振興着実に実施 食品分野で販路拡大へ 企業の研究開発を促進 中小企業の新事業支援

小林氏
鈴木峰氏
中里氏
富田氏



栃木県 産業労働観光部
経営支援課長
富田 哲夫氏



栃木県 産業労働観光部
工業振興課長
中里 文計氏

なると、異分野連携によるなど、景気の後退が地域経済に与える影響を強く懸念しているところである。このように、本県が活力ある地域として発展を続けるため、スタートを2年目とする「新と

を重視し、販路拡大を支援しています。県内企業は約98%が中小企業であり、このことから、「とちぎ中小企業未来チャレンジ戦略」により、中小企業の活性化に取り組みんでいます。企業誘致においては、成長性に富む企業の立地・定着を図るため、「とちぎのいいも」販売推進本部を活用しながら、重点5分野や食品関連など、本社・研究開発機能などを集約し、環境産業の事務局を担当しています。また、フードパントリーでは高機能・高付加価値食品開発研究部会、県産品後の「フーズ・アップ」まで、きめ細かく支援します。今年度の制度融資は、過去3番目に大きな融資枠を確保しています。ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。

企業誘致においては、成長性に富む企業の立地・定着を図るため、「とちぎのいいも」販売推進本部を活用しながら、重点5分野や食品関連など、本社・研究開発機能などを集約し、環境産業の事務局を担当しています。また、フードパントリーでは高機能・高付加価値食品開発研究部会、県産品後の「フーズ・アップ」まで、きめ細かく支援します。今年度の制度融資は、過去3番目に大きな融資枠を確保しています。ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。

を重視し、販路拡大を支援しています。県内企業は約98%が中小企業であり、このことから、「とちぎ中小企業未来チャレンジ戦略」により、中小企業の活性化に取り組みんでいます。企業誘致においては、成長性に富む企業の立地・定着を図るため、「とちぎのいいも」販売推進本部を活用しながら、重点5分野や食品関連など、本社・研究開発機能などを集約し、環境産業の事務局を担当しています。また、フードパントリーでは高機能・高付加価値食品開発研究部会、県産品後の「フーズ・アップ」まで、きめ細かく支援します。今年度の制度融資は、過去3番目に大きな融資枠を確保しています。ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。

産学官の開発体制構築 特許など外国出願助成

花田氏
伊藤氏



栃木県 産業技術センター所長
花田 康行氏



栃木県 産業振興センター理事長
伊藤 勤氏

機能強化・利便性向上
として役割を担っています。花田 昨年の震災では当センターも被災しましたが設備・装置の復旧は完了しました。放射線測定器の活用は今年度に入ってから着実に進められていますが、放射線核種測定は輸出関連の依頼が月50件程度で推移しています。私たちの主要業務は依頼試験、機器開放、技術相談、研究開発を実施し、技術的側面から中小企業を支援すること、研究開発では、重点5分野関連のCFRP加工用切



伊藤 当センターは財団として、事業計画に則して着実に実行していくことが基本です。事業計画に取り組みたい場合は、フードパントリーのフアンド事業に則して、商品開発の補助事業の期限を年度内から交付決定後12カ月へと変更、展示会出展の支援を年間1回から年間3回まで使えるようにするなどの取り組みが、改善を図りました。最近の気になった点を紹介しますと、相談内容では、5つの取り組み、後継者対策、経営分析などに関する相談が増加しています。受発注あふせんとしての商談会では、海外調達の増加や内製化の動きから、発注企業集めが苦勞しがちです。海外展開事業では、今年度から特許や意匠・商標の外国出願の助成を開始しました。来年度以降、国の予算が増えれば、さらに強化したいと考えます。

研究開発体制構築を促進し、中小企業の競争力強化を支援するため、当センターのハブ機能の強化に取り組みんでいます。伊藤 当センターは財団として、事業計画に則して着実に実行していくことが基本です。事業計画に取り組みたい場合は、フードパントリーのフアンド事業に則して、商品開発の補助事業の期限を年度内から交付決定後12カ月へと変更、展示会出展の支援を年間1回から年間3回まで使えるようにするなどの取り組みが、改善を図りました。最近の気になった点を紹介しますと、相談内容では、5つの取り組み、後継者対策、経営分析などに関する相談が増加しています。受発注あふせんとしての商談会では、海外調達の増加や内製化の動きから、発注企業集めが苦勞しがちです。海外展開事業では、今年度から特許や意匠・商標の外国出願の助成を開始しました。来年度以降、国の予算が増えれば、さらに強化したいと考えます。

花から野菜・果物まで鮮度長持ち!

保鮮システム 快蔵くん
鮮度維持機能 いたしきん
特許技術により、農産物の計画的な生産管理、流通に大きな威力を発揮します。
株式会社 大高商事
栃木県宇都宮市宝木本町1474番地5 URL: http://www.daikoh.net
TEL.028-665-1911代 FAX.028-665-1919

高精度歯車
KIKUCHI
JISQ9100・ISO14001 認証取得
開発段階からご相談ください
深い経験とノウハウで最適な提案・製作が可能です。
http://www.kikuchigear.co.jp
KGK 菊地歯車株式会社 〒326-0332 栃木県足利市福富町726-30
TEL 0284-71-4315 FAX 0284-72-6519

～地域のためにできること～
Retail & Relationship
ひろがる栃木の未来のために
足利銀行
www.ashikagabank.co.jp

RTC エレクトロニクス技術のTotal Planner
医療用電子機器・車載・船舶/防衛機器・産業機械用電子制御機器などの市場に
「製品開発」～「試作」～「量産」までの一貫ものづくりサービスを提供しています
栃木県フロンティア企業
株式会社 アール・ティー・シー
〒329-0611 栃木県河内郡上三川町大字上三川3948
Phone 0285-56-6213 Fax 0285-56-0197
http://www.rtc-corp.co.jp
医療機器製造 ISO13485/9001/14001 認証

活きる人材を育てる場。

帝京大学宇都宮キャンパスは、実社会で活かせる技術を身につけた人材、そして地域社会の活性化に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

帝京大学 宇都宮キャンパス

- 経済学部 地域経済学科(栃木県内で唯一の経済学部です)
- 理工学部 機械・精密システム工学科・航空宇宙工学科・ヒューマン情報システム学科・バイオサイエンス学科・情報科学科通信教育課程
- 医療技術学部 薬道整復学科
- 大学院 理工学研究科総合工学専攻 博士課程(前期/後期)・理工学研究科(通信教育課程)情報科学専攻 修士課程・医療技術研究科薬道整復学専攻 修士課程

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL.028-627-7111(代) http://www.teikyo-u.ac.jp



宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY
産学連携は
地域共生研究開発センターまで
お気軽にご相談ください。
企業の皆様へ
25名の産学官連携コーディネーターと18名の客員教授(各分野の専門家、弁護士、弁理士)が、お手伝いします。
技術相談 共同研究 企業交流会 依頼分析 特許相談 技術移転 外部資金獲得 など
共同開発事例
大まなご製品 オゾン水生成器
ガラス忌避器具 環境放射線モニタリングシステム
大学の地域貢献度で高い評価を受けています。
2012年度も2位!
2006年度からの7年間でトップ10を6回
トップ3を4回
(出典 日経グローカル)
地域に学び、地域に返す 地域と大学の支え合い
宇都宮大学 地域共生研究開発センター
〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2 TEL.028-689-6316 FAX.028-689-6320 E-mail:chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp